

個人顧客向けの輸入代行の ワンストップサービスで差別化を図る

課題

安売りの新規参入業者に押され 差別化とブランド力維持に苦勞

ファーストトレード株式会社は、中国のタオバオ・アリババからアパレル・雑貨品等を輸入し、インターネット店舗で販売するお客様を対象に、購入・決済・輸入に関する諸手続きを代行する、「輸入代行サービス」と、中国・バングラデシュでの協力工場で生産・輸入したビジネスバッグを楽天・アマゾン等自社インターネット店舗で販売する「インターネット販売」を行っている。貿易事業・ロジスティック事業・EC事業を行っているが、メインの貿易事業は、個人で行う海外商品の輸入仕入手続き代行サービスが主力である。

輸入代行業は参入障壁が低く、ここ数年は日本での拠点をもちない事業者が増加している。また、同社は中国輸入代行業界の中では中堅の部類に入るが、新規参入する会社が明らかに同社を模倣したWebサイトを構築したり、自社の優位性をアピールする料金体系の比較に使用したりするなど、他社からの追従が激しくなっていた。

さらに近年、顧客はサービスの質よりも安さを求める傾向があり、業界全体が価格競争に陥りつつある。こうしたなか、他社サービスとの差別化は喫緊の課題となっていた。

支援

補助金で先端設備を導入 他社と一線を画するサービスへ

相談を受けたあわら市商工会は、まず福井県商工会連合会による商工会認証システムの受診を勧めた。このシステムを通して同社の現状の聞き取りを行い、主な客層や強み・弱み、顧客への訴求や社内での取り組みなどを把握。これらを踏まえて、同社が目指す姿に向けての経営課題や重要成功要因などの提言を行うことになった。

他社との差別化が必要という認識があった経営者には、個人客に対し、輸入代行から申告までを一括サポートする新サービスの構想があった。小規模事業者のボトルネックとなる経理・資金繰り面（原価計算、発注計算、棚卸、取引記帳、確定申告）が容易にできるシステムを構築することで「ワンストップサービス」を実現できれば、日本に事務所をもつ強みを活かしつつ、より効果的に輸入コンサルティング事業を行っていくことが可能になると考えた商工会は、補助金の利用を提案。ヒアリングを行い、内容の整理・落とし込みなど



あわら市にある同社の社屋

を行ったうえで、ものづくり補助金の申請書作成などを支援するとともに、「ワンストップサービス」の新事業実施について、経営革新計画の承認、先端設備等導入計画の認定支援も行った。

これらに採択されたことで、独自の専用 Web 注文システムを構築。簡便・迅速な注文・発送体制の確立および EC 事業者の資金調達から会計までの支援が可能になった。これにより、従来の商品手配・お届けスピードの迅速さに加え、会計面などバックエンド業務のサポートを実現でき、顧客対応の丁寧さや輸入される商品に対する詳細なアドバイスも評価され、売り上げとブランド力拡大につながった。商工会は今後も継続して伴走支援を行っていく。

支援の経過

期間	支援内容
2016年7月～8月	商工会認証システムによる経営診断
2018年4月～6月	経営革新計画の策定支援、 先端設備導入計画の策定支援
4月～12月	ものづくり補助金の申請・実行支援

会社概要

会社名：ファーストトレード株式会社
 住所：福井県あわら市大溝3-3-18
 電話番号：0776-73-0606
 URL：http://fast-trade.co.jp/
 代表者名：三上良平
 創業年：2011年
 従業員数：30名
 商工会名・担当者名：あわら市商工会・青木政彦